

コミュニティゾーンにリンクされたレコードのローカル拡張フィールドの操作

ローカル拡張フィールドを使用するのは、次のいずれかの役職でなければなりません。

- 目録編集者
- 拡張目録者（削除用）
- 目録マネージャー
- 目録管理者

メタデータエディタでコミュニティゾーンのレコードを編集できるのは、本番環境のみです。サンドボックス環境で作業している場合、正規化プロセスのみを使用してローカル拡張機能をコミュニティゾーンレコードに追加できます。

関連ドキュメントの詳細については、以下を参照してください。

- [コミュニティゾーンへの投稿ガイドライン](#)
- [コミュニティゾーンへの投稿 - 書誌レコード](#)

すべての教育機関は、独自の所有情報を記録するために、コミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードにローカル拡張を作成および維持できます。ローカル拡張の操作は、次の環境でサポートされています。

- **スタンドアロン機関** – スタンドアロン機関のコミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードのローカル拡張機能は、その機関のみが追加、更新、索引付け、および取得できます。
- **メンバー機関** – ネットワークの一部であるメンバー機関のコミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードのローカル拡張機能は、そのメンバー機関のみが追加、更新、索引付け、および取得できます。
- **ネットワークゾーン** – ネットワークゾーンのコミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードのローカル拡張機能は、ネットワークゾーンによって追加、更新、索引付け、および取得できます。ネットワークゾーンで管理されているローカル拡張機能は、[ネットワーク]タブをリポジトリ検索に使用すると、メンバー機関に公開されます。詳細については、[ネットワークゾーン内の書誌レコードへのローカル拡張機能の追加](#)を参照してください。。
- **Primo VE** – Primo VE に関連するローカル拡張機能については、[\[Primo VEの表示フィールドとローカルフィールドの管理\]](#) および [\[ローカルフィールドを DEDUP レコードに表示\]](#)を参照してください。

詳細については、[Alma コミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードのローカル拡張のサポート](#)を参照してください。
(55:53分)

この機能により、教育機関は以下のフィールドにローカル情報を入力して維持します。

フォーマット	[フィールド]
MARC 21	77X/78X、09X、59X、69X、および9XXフィールド
KORMARC	009、77X/78X、09X、59X、69X、および9XXフィールド
UNIMARC、CNMARC	0X9、1X9、2X9、3X9、4X9、5X9、6X9、7X9、8X9、9XXフィールド

これは、**【ローカル拡張機能の追加】** オプションを使用して一度に1つのレコードを編集する場合（[MDエディタを使用したローカル拡張機能の追加](#)を参照）、またはローカル拡張機能フィールドを更新する正規化プロセスでジョブを実行することにより、複数のレコードに対してMDエディタで実行できます（[ローカル拡張を維持するための正規化プロセスの使用](#)を参照）。

ローカル拡張データには次のものがあります。

- 検索済み（簡易検索および詳細検索のためのローカルフィールドを設定するには [検索の設定](#)を参照）
- エクスポート済み（[ローカル拡張のエクスポート](#)を参照）
- 公開済み（[ローカル拡張の公開](#)を参照）
- APIを使用して処理済み（開発者ネットワークの [書誌レコードと目録](#)を参照）

リンクされた書誌レコードがコミュニティゾーンの更新中に同期されても、ローカル拡張コンテンツは上書きされません。

Note

この機能は、Almaプロダクションモードでのみ利用可能です。実装環境またはサンドボックス環境で機関から作業している場合、CZレコードにローカル拡張を追加することはできません。

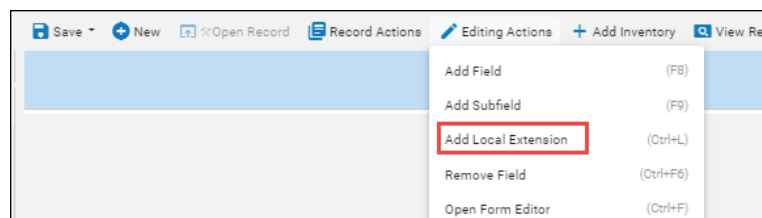
詳細については、[Alma CZにリンクされた書誌レコードのローカル拡張のサポート](#)を参照してください。

MDエディタを使用したローカル拡張機能の追加

【ローカル拡張機能の追加】 オプションを使用して、コミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードにローカル拡張フィールドを追加します。

ローカル拡張フィールドを追加するには：

1. MDエディタでコミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードを開きます。
2. **【アクションの編集】** > **【ローカル拡張機能の追加】** を選択してローカル拡張機能フィールドを入力します。詳細については、[【ローカル拡張を追加する】](#)を参照してください。



ローカル拡張オプションを追加する

ローカル拡張フィールドを追加すると、このフィールドとともに機関アイコンが表示されます。**【アクションの編集】** > **【フィールドの追加】**機能で追加されたローカルフィールドは、機関アイコンでは表示されないことに注意してください。

776	\$\$z 1-60270-260-8
906	\$\$a BOOK
 990	\$\$a there is a stain on page 33

機関アイコンが付いたローカル拡張フィールド

- 通常どおりにレコードの編集および保存を完了します。

ローカル拡張を維持するための正規化プロセスの使用

Marc 21書誌正規化を使用してジョブを実行すると、ローカル拡張フィールドを編集する（以前に作成または保存した）MARC Drool正規化ルールを選択できます。**996**ローカル拡張を追加する例については、以下のMARC Drool正規化ルールを参照してください。サブフィールド**9**（ローカルとして識別される）は、ローカル拡張フィールドの必須フィールドです。

```
rule "Add field 996 as local extension"
when
(not exists "996.a.ABC")
then
addField "996.a.ABC"
addSubField "996.b.JAN-2020" if (exists "996.a.ABC")
addSubField "996.9.local" if (exists "996.a.ABC")
end
```

Marc 21書誌正規化を使用してローカル拡張を維持するには：

- ローカル拡張を編集するための正規化ルールを作成します。正規化ルールの作成の詳細については、[正規化ルールの操作](#)を参照してください。
- 作成した正規化ルールで設定されたMARC Drool正規化プロセスを作成します。詳細については、[正規化プロセスの操作](#) セクションにある [プロセスの追加](#) および [MarcDroolNormalization](#) を参照してください。
- 作成したMARC Droolの正規化プロセスを使用する **Marc 21 Bib**正規化ジョブを実行します（[\[アドミン\] > \[ジョブとセットの管理\] > \[ジョブを実行する\]](#)）。ジョブを実行する際、**Marc 21**書誌正規化をタイプドロップダウンリストから選択し、作成したローカル拡張プロセスをより簡単に見つけることができます。
- このジョブを実行の一部としてセットを選択すると、環境に応じて、セットにさまざまなレコードが含まれる場合があります。その一部はローカルコミュニティゾーンにリンクされたレコードであり、その他はネットワークゾーンにリンクされたレコードです。

以下は、**Marc 21**書誌正規化ジョブをコミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードのローカル拡張を維持するためのジョブを実行する際の考慮事項です。

- コミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードがローカル拡張フィールドのサブフィールド**9**に`local`を含む場合、ジョブはローカル拡張のみを更新します。**[ローカル拡張機能の追加]**オプションを使用して以前MDエディタで作成されたレコードについては、`$$9local`サブフィールドが自動的に作成され、キャッシュされたレコードに保存されます（MDエディタの編集ペインには表示されません）。**Marc 21**書誌正規化ジョブとともに新しいローカル拡張フィールドを追加する場合、MARC Drool正規化ルールは、`local`を含むサブフィールド**9**を追加する必要があります。
- ローカル拡張の正規化のみが処理されます。**Marc 21**書誌正規化ジョブに選択された正規化ルールがローカル拡張に

関連しない正規化を含む場合、ローカル拡張に関連しない正規化ルールは処理されません。

- ジョブに選択されたセットがローカルレコードを含む場合（コミュニティゾーンまたはネットワークゾーンにリンクされていないもの）、**\$\$9local** サブフィールドは他のサブフィールドと同様に扱われます。
- ジョブに選択されたセットがネットワークゾーンにリンクされたレコードを含む場合、ローカル拡張は、**MARC Drool**正規化ルールで定義された**\$\$9local** サブフィールドを持つ**Marc 21**書誌正規化ジョブを実行するメンバーにのみ関連するネットワークゾーンにリンクされたレコードに作成されます。
- **Marc 21**書誌正規化ジョブがネットワークゾーンからコミュニティゾーンにリンクされたネットワークゾーンレコードに実行される場合、ローカル拡張は、**Marc Drool**正規化ルールが**\$\$9local**を使用してローカル拡張に正しくコード化されている際にコミュニティゾーンにリンクされたネットワークゾーンレコードに作成されます。ネットワークゾーンのローカル拡張フィールドは、リポジトリ検索の[ネットワーク]タブからのみ検索または表示できることに注意してください。

ジョブレポート

ローカル拡張を処理する**Marc 21**書誌正規化ジョブの場合、生成されるジョブレポートには、次の追加カウントが含まれます。

- ローカル拡張を持つネットワークリンクレコード
- ローカル拡張を持つコミュニティリンクレコード

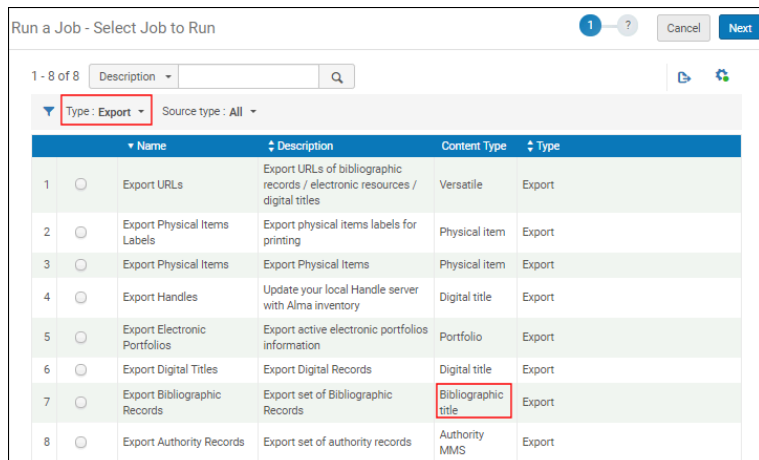


Statistics	
Records skipped	0
Network linked records with local extensions	0
Community linked records with local extensions	30
Errors	
Records with exceptions	0

ローカル拡張カウント

ローカル拡張のエクスポート

ローカルエクステンションは、書誌タイトルコンテンツのエクスポートタイプジョブを使用してエクスポートできます。



Name	Description	Content Type	Type
Export URLs	Export URLs of bibliographic records / electronic resources / digital titles	Versatile	Export
Export Physical Items Labels	Export physical items labels for printing	Physical item	Export
Export Physical Items	Export Physical Items	Physical item	Export
Export Handles	Update your local Handle server with Alma inventory	Digital title	Export
Export Electronic Portfolios	Export active electronic portfolios information	Portfolio	Export
Export Digital Titles	Export Digital Records	Digital title	Export
Export Bibliographic Records	Export set of Bibliographic Records	Bibliographic title	Export
Export Authority Records	Export set of authority records	Authority MMS	Export

ローカル拡張エクスポート

ローカル拡張は、〔書誌レコードのエクスポート〕ジョブを使用してエクスポートされた書誌データの不可欠な部分としてエクスポートできます。\$\$\$localサブフィールドはローカル拡張フィールドとともにエクスポートされることに注意してください。

```
<datafield tag="996" ind1=" " ind2=" " >
  <subfield code="a">Budget-January-2020</subfield>
  <subfield code="9">local</subfield>
</datafield>
```

エクスポートされたローカル拡張データ

ローカル拡張のインポート

インポートプロセスを介してローカル拡張を追加することができます。この機能は、〔一致アクション〕の下の〔リポジトリ〕、〔目録を更新する〕、および〔新規オーダー〕インポートプロファイルから有効にできます。詳細については、[コミュニティゾーンにリンクされたレコードの処理](#)および[Alma CZにリンクされた書誌レコードのローカル拡張のサポート](#)を参照してください。

ローカル拡張の公開

ローカル拡張コンテンツは、一般的な公開プロファイルまたはPrimo公開プロファイルを使用する際に公開でき、書誌レコードをPrimoに公開します。

一般公開

独立機関またはメンバー機関がコミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードを公開すると、ローカル拡張が公開されます。\$\$\$localサブフィールドは、公開されているローカルデータに含まれています。

以下のシナリオでは、公開はこの方法で処理されます。

- ネットワークゾーンがそのメンバーのコミュニティゾーンにリンクされたレコードを公開する – ネットワークゾーンが、ローカル拡張を持つコミュニティゾーンにリンクされたレコードであるメンバーのレコードを公開すると、メンバーのローカル拡張と\$\$\$localサブフィールドが公開されます。
- ネットワークゾーンが独自のコミュニティゾーンにリンクされたレコードを公開する – ネットワークゾーンが独自のコミュニティゾーンにリンクされたレコードを公開し、それらのレコードにローカル拡張がある場合、ローカル拡張と\$\$\$localサブフィールドが公開されます。
- メンバー機関が独自のコミュニティゾーンにリンクされたレコードを公開する – メンバー機関がローカル拡張を含む独自のコミュニティゾーンにリンクされたレコードを公開すると、ローカル拡張と\$\$\$localサブフィールドが公開されます。

Primoへの公開

Primoへの公開には、ローカル拡張の公開が含まれます。機関がローカル拡張を持つコミュニティまたはネットワークゾーンにリンクされたレコードを公開すると、ローカル拡張とともに、\$\$\$9ローカル情報も公開されます。ネットワークゾー

ンが、ローカル拡張を持つコミュニティゾーンにリンクされたレコードを持つメンバーのレコードを Primo に公開すると、ローカル拡張はメンバーごとに公開され、\$\$\$ローカル情報も公開されます。